



## 海洋プラスチック



近年、プラスチックごみによる海洋汚染の解決策として脱プラスチックが注目されるようになりました。東洋製罐は、製造するプラスチック製品に再生プラスチック・生分解性プラスチックの導入やペレットの流出防止の取り組みを行っています。また、プラスチックごみを少なくする取り組みとして、美化活動にも力を入れています。

### 樹脂ペレット漏出防止対策の徹底

プラスチック製品の原料である樹脂ペレット（数mmの大きさ）が工場敷地外へ漏出すると、海洋プラスチックごみとなってしまいます。以前より、路面にこぼれた樹脂ペレットが工場敷地外へ漏出しないよう、雨水溝に金網を設置するなどの対策は実施してきましたが、今般、漏出ゼロを目指した管理徹底のため、東洋製罐グループ共通の「樹脂ペレット漏出防止ガイドライン」が策定されました。これをもとに東洋製罐事業グループでは「漏出可能性のある場所の特定および防止策の検討・実施」「日常管理」「監査」など、各社の環境マネジメントシステムの中で、運用しています。現在、海外向けの共通ガイドラインの策定を進めており、今後は海外拠点に範囲を広げていきます。



ペレット捕集用スクリーン設置例  
（雨水枡）

### 美化活動 -ピリカ-の活用-

2018年よりごみ拾いアプリ「ピリカ」を活用し、これまで個々の事業所で地道に行っていた美化活動が、パソコンやスマートフォンから簡単に投稿・閲覧できるようになりました。東洋製罐グループの企業サイトにおいて、各社、各事業会社、いろんなグループが全国で活動している様子が分かります。東洋製罐は全事業所および事業グループに参加を呼びかけ、活動に賛同した事業所の美化活動の様子を公開しています。2021年度の取り組み結果は、参加人数は614人。拾ったごみの量は8,834Lとなりました。今後も、新型コロナウイルス感染防止策をとりながら、継続的に取り組んでいきます。

参考URL

ごみ拾いアプリ「ピリカ」

東洋製罐グループホールディングスのページ

<https://www.pirika.org/u/5256552586149888>

